

? 毎日のギモン紙面相談室



五十肩って  
放っておいて治るの?

痛みを我慢せずに適切な治療を受けていただくことが有効です。

五十肩は、肩の痛みや動かしづらさといった症状を生じ、50歳以降に多く発症します。友だちに「五十肩だから自然に治る」と言われて様子を見ていたり、痛みを我慢していたと言われる方もよくいらっしゃいます。自然に治ることもありますが、治るまでに数カ月から数年かかる場合があります。さらに最終的に治らず肩の動かしづらさが残り、日常生活に支障をきたすことがあります。適切に治療することによって、治療期間を短くすることができます。また、よく似た症状を起こす肩の疾患である腱板断裂で、治療が必要となる場合があります。「五十肩かな?」と思ったら、まずは整形外科へご相談ください。



皆さんからの質問に、  
とぴあ先生がお答えします!

とぴあ先生  
豊富な経験と知識をもち、仲間や患者さんから信頼される、富田浜病院に勤める医師の理想像。

お願い

富田浜病院グループでは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、皆さまをお迎えしております。来院、ご利用の際は、ご協力よろしくお願いたします。

医療法人 富田浜病院

〒510-8008 三重県四日市市富田浜町26-14

お気軽にお問い合わせください

tel 059-365-0023

富田浜病院

検索

HPIはこちら



とぴあ



Staff  
Voice

四日市市北地域包括支援センター  
社会福祉士

笹岡 亜里沙

少しでもお手伝いしたい。  
そんな謙虚な気持ちで、  
小さな疑問・不安から解消したい。

学生時代から友人の聞き役になることが多く、誰かの力になれることに喜びを感じたことが、この仕事に就いたきっかけです。大学を卒業後、訪問入浴ヘルパーや、精神障害者の就労・生活を支援するNPOの職員、介護保険事務所などで勤務してきました。現在は、介護支援が必要な方に対するケアマネジメントを担当。自分が“役に立つ”という大きなものではなく、“お手伝いできるかもしれない”という謙虚な気持ちを大切にしています。だからこそ、プライベートの時間も含めて勉強や情報収

集に力を入れており、努力し続けることで、より良いお手伝いがしたいと思っています。富田浜病院グループの良さは、積極的に部署ごとが顔を合わせる機会を設ける努力をしていることだと感じます。ノウハウの共有、ちょっとした息抜きなど、コミュニケーションが円滑だからこそ、働く側も気分よく仕事ができる環境になるのだと思います。私が未熟だと思えることは何でも先輩や病院・福祉施設に聞くようにしており、私自身も恩恵にあずかっている一人ですが、ぜひ皆さんも、何でも職員に聞いてくださるといいなと思います。私たち地域包括支援センターの職員も、介護保険とは?ケアマネジャーとは?といった素朴な疑問からお答えします。小さな疑問・不安を、ぜひ私たちに聞くことで、解決してもらえたらうれしく思います。

部 署

紹 介

よっ か いち し  
**四日市市**  
 きた ち いき ほう かつ  
**北地域包括**  
 し えん  
**支援センター**



### 高齢者の方々の日常生活に関する 公的相談機関。

私たちは、四日市市から委託を受けた市内3か所の内1か所で、高齢者の在宅生活に関する公的相談機関です。当センターの職員は、事務員以外で、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー、ケアマネジャー、看護師、社会福祉主事など、必ず何らかのライセンスを保持しています。担当のエリアは、海蔵・羽津・大矢知・富田・富洲原・八郷・

下野・保々の8地区です。各地区には、当センターと同じく四日市市から委託を受けた在宅介護支援センターが配置されており、日々、在宅介護支援センターをはじめ、介護保険関連、医療関連、行政関連の支援関係者と連携を取りながら、住み慣れた場所で生活が継続できるようにご支援をしています。

### 業務内容

#### ①総合相談業務

各中学校区にある在宅介護支援センターをはじめ、様々な専門機関と連携し、個別ケースにおける相談支援を実施。

#### ②権利擁護業務

高齢者虐待、消費者被害、認知症をはじめとした判断能力が低下された方への相談対応。

#### ③包括的・継続的ケアマネジメント業務

地域のケアマネジャーへの支援、医療と介護の連携推進のための取り組み。

#### ④介護予防事業

いきいき百歳体操をはじめとした、今以上に状態が悪くならないための地域住民に向けた取り組み。

#### ⑤介護予防ケアマネジメント業務

事業対象者、要支援1・2の認定を受けた方への在宅生活継続への相談支援。

#### ⑥認知症初期集中支援チーム

認知症に対して早期発見早期対応をすることが目的の相談支援。医師もいます。

#### ⑦認知症地域支援推進業務

認知症の方及びその家族が地域で生活しやすくなるための仕掛け取り組みの実施。



**患者さん、  
ご家族の  
皆さんへ**

日常生活の中でお風呂に入れない、買物に行けない、今のお身体状況を維持するため機能訓練の機会を持ちたい、物忘れが出てきて心配など、お困り事が出来た場合、お気軽にご相談下さい。適切な支援機関におつなぎしたり、ご支援を致します。

### 富田浜病院グループからのお知らせ

## 富田浜病院にある 銅像をご存じですか？



富田浜病院の第1駐車場に、二つの銅像が並んでいることをご存じでしょうか。よく患者さんから質問を受ける二つの銅像。実は、富田浜病院の創業者である石田誠と、三代目理事長である石田マサヲを称えたものなのです。今の富田浜病院グループがあるのも、この二人の多大なる功績のおかげだと思っています。



### 富田浜病院創業者 石田 誠



創業者であり初代理事長でもある石田誠博士は、明治14年8月1日岡山県苫田郡奥津村に生まれました。石田三成を先祖に持つ奥津の医師の家系に育ち、第一高等学校(現在の東京大学)で法学を学んでいました。自身が結核を患い、北里療養所に入院し北里柴三郎の治療を受けるなどして結核を克服。その影響で医師になることを決意しました。明治39年、京都府立医科専門学校(現在の京都府立医科大学)を卒業後、京都帝国大学医学部和辻教室(現在の京都大学)に入局。韓国に赴任して伊藤博文統監の主治医や、ドイツ・ミュンヘン大学に留学して細菌学を研究後、当時は国民病といわれた結核の撲滅悲願達成のため大正7年5月1日、この富田浜の一画に呼吸器専門病院として富田浜病院を創設しました。昭和33年結核予防会総裁の秩父宮妃殿下より日本最初の功労賞受賞の栄に浴され、昭和34年1月14日享年77歳で永眠されました。

### 第三代理事長 石田 マサヲ



石田マサヲ先生は明治25年11月23日、四国香川県三豊郡比地大村に出生。大正2年12歳の時、日露戦争に出兵する兄を見送りに行った際、屈強な兵士と共に軍艦に乗り込む白衣の看護師の姿を見て、女性が男性と肩を並べて働ける職業はこれしかないと感じたそうです。京都大学医学部附属看護婦養成所卒業後、京都帝国大学医学部耳鼻咽喉科勤務、大正6年に石田誠博士と結婚し、富田浜病院の設立に尽力。昭和31年4月に三重県結核予防会理事に就任、昭和57年5月財団法人結核予防会総裁秩父宮妃殿下より結核予防功労賞を授与されました。政治面での活躍も顕著で、昭和22年4月三重県議会議員当選、連続5期を勤め、昭和38年4月には女性議員で日本第1号の県議会副議長を歴任。富田浜病院では、昭和34年3月富田浜病院附属看護婦学校校長に就任、昭和41年5月、富田浜病院理事長になり活躍され、昭和62年10月24日享年95歳で永眠されました。